

## ● 勅使河原和風会

# 好きな花を好きなだけ 好きな花瓶に挿して楽しむ



花に限らず緑の木々や紅葉にふれると、綺麗だと思い、美しいと感じ、美感に打たれる。2023年に創立127年を迎える勅使河原和風会は、いけ花体験教室・花展等の活動を通じて、こうした感性を次世代へ伝えている。

美しいものを自分の環境に取り入れ「少しでも長くそばに置きたい」という心は、人が持つ自然な本能だ。そして「花を枯らすまい」という優しい思いやりの気持ちと、いける人の感性と確かな技術で、自然をより美しく表現することこそが、いけ花である。

勅使河原和風会の歴史は、1896年に初代勅使河原和風により日本の伝統文化であるいけ花を広く一般に伝承することを目的に、日本生花学会として始まった。その後、二代目勅使河原和風により、活動の場は海外まで広がり、三代目勅使河原和風は本部会館を華道の研究調査等の場として広く研究者に提供した。そして、いけ花の普及およびその文化の発展に寄与す

ることを目的として、公益財団法人を設立し、今日に至っている。

勅使河原和風の作品は国内外で高い評価を得ており、日本画壇の横山大観米寿記念名作展では、親交のあった横山大観氏より直々に依頼を受け会場花を担当したほか、1964年には日本人で初めてニューヨーク国連本部及びコロンビア大学でいけ花を紹介する荣誉に浴したほどである。

同会では、手ぶらで気軽に参加でき、使用したお花を持ち帰ることも可能な体験教室を随時開催している。お一人でも、友人や同僚を誘ってでも、ぜひ一度いけ花の世界を体験してみたい。

### 企業情報

- 🏠 勅使河原和風会
- 📍 東京都世田谷区桜新町
- 👤 勅使河原光衣代表理事  
(四代目勅使河原和風)
- ☎️ 03-3428-8221

<https://www.wafu.or.jp/>

